



環境浄化微生物

あ い い ち

『えひめAI-1』を活用しましょう！

はじめに

河川などの「汚れ」は水中の有機物を微生物が分解することにより浄化されます。浄化槽でも下水道処理場でも浄化の考え方は同じです。

水質浄化を図るには、まず「汚さない」ことですが、その次は「自然の浄化作用」を強化することです。この「自然の浄化作用」こそが「微生物の働き」そのものなのです。

したがって「自然の浄化作用」を強化することは「微生物の働き」を強化することに他なりません。「微生物の働き」を強化することは微生物を増やす、微生物を活性化させるなどが考えられます。

えひめAI-1とは

環境浄化微生物「えひめAI-1」は、水質環境の改善を目的として愛媛県工業技術センターで開発された「酵母」「乳酸菌」「納豆菌」「精糖蜜」「水」を原料として

発酵培養した、人や動物に無害で環境にやさしい発酵培養液です。

えひめAI-1は次のとおり微生物を活性化させるのに最適な環境浄化微生物です。

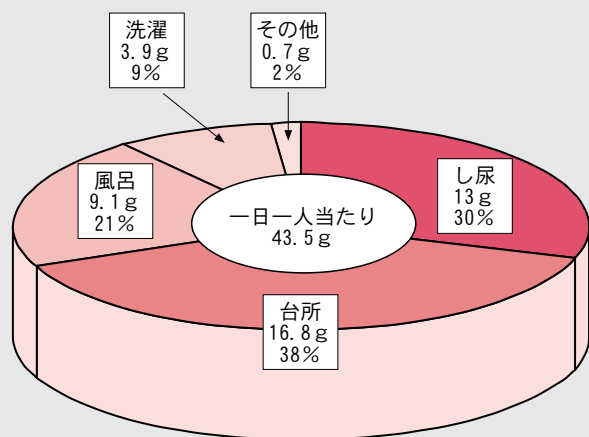
えひめAI-1の働き

えひめAI-1は微生物の「エサ」となり各種微生物が増殖するとともに、隠れていた微生物が出現し、微生物の種類が増加します。

えひめAI-1の酵素の働きで油分を分解し微生物が食べやすくなります。

えひめAI-1は酸性（pH3〜4）なのでアンモニアやアミン類のアルカリ性悪臭物質を中和させ、腐敗を抑制します。

生活排水中のBOD



BODとは「生物化学的酸素要求量」の略で、微生物が水中の有機物(水質汚濁物質)を分解するのに必要な酸素量のことです。

有機物が多ければ微生物も増え、必要な酸素量も増えることとなります。従ってBOD数値が高いほど水質汚濁が進んでいることを示しています。

環境基準ではAAランクの場合1mg/リットル、Eランクで10mg/リットル以内と定められています。

※1000mg=1g